



「前期 同朋大学子育て教室」ひよこだより



こんにちは。毎日暑い日が続いていますが皆さん元気でお過ごしでしょうか？前期 A コースも今日で最後となりました。月に1回ですが、回数を重ねるごとに私たち学生や場に馴染んできたように思います。緊張や不安からかお母さんにずっと抱っこされていた子が、目を合わせ、手を伸ばしてくれるようになりました。このようなやさやかな進歩が私たちの大きな喜びとなり、保育士となる自信へつなげてくれます。 編集長 安西千尋

第1号では学生が見たAコースのお子さんの様子を4つの場面で紹介しました。
第2号では他の場面のお子さんの様子をお伝えします。

編集・レイアウト
木村・白石ゼミ4年生

★ みんなと遊びましょう ★ ♪くまさんくまさんりょうてをあげて…♪ と、手遊びなど。



★ 製作遊び ★

最初は、子どもが興味をもつというよりお母さんに連れられて参加する感じでした。しかし、お母さんと一緒にビニールや紙コップに絵を描いているうちに子どもも興味を示すようになりました。完成したおもちゃに空気が入ったときの喜んだ顔がとても印象に残っています。

製作コーナーで作るおもちゃは簡単に作れるので是非保護者の皆さんにも作り方を覚えて家でやってみてください。自分で心を込めて作ったおもちゃは大切にしたいなと思います。 ★リュウジ★



★ 楽器遊び ★



このコーナーには、タンバリンや鈴、木琴などの音の出るおもちゃが沢山置いてあります。私が鳴らして見せたタンバリンを手に取り、笑顔で“バンバン”とたたきました。次に鈴を手にしたら、鈴を欲しがり、次から次へと私が持った楽器の音を楽しみました。幼児は私のかかわりで、色々な楽器に触れ叩き方を真似て、音が変わることを楽しんでいました。自分のかかわりが子どもの興味をくすぐるうれしさを味わいました。 ★ヒロコ★

★ すべり台 ジャングルジムつき

「3. 2. 1」の掛け声にニコニコ笑顔で滑ります。ジャングルジムに “よいしょっよいしょっ” と挑戦し、すべり台に辿り着くとニコニコ。すべり台をうなって登ってほっと息をつくなど、子どもたちは様々です。ふと気づくと、さっきは届がなかった所に手が伸びて登ったり、怖がっていた所を楽しそうに滑ったりしています。

すぐに手を差し伸べるのではなく、見守ることで工夫する力を育て、「大丈夫、できるよ！」と声を掛けることで自信が持てるようになることが分かり、見守る大切さに気づきました。 ★サチ★



★ 粘土遊び

最初はただ丸めたりつぶしたりしていたけれど、ダルマの形を作って渡すと、指で凹凸をつけて目や口をつけます。細長い形を作ると真似て作ります。

1・2歳児でも、きっかけさえあれば自分で考え、遊びの幅を広げていくことがわかり、とても新鮮で新しい発見をした気分がもてました。 ★マサシ★

お母さんが楽しそうにソフトクリームを作ると、子どもも真似をして作り始めました。「お母さん見て！」と言わんばかりに得意げです。

子どもたちはポンポン叩いて平たくしたり、へびのように細長くしたりと、いろんな形に変身させることを繰り返し楽しみ、造形することや料理することなどに自信が持てるようになっていました。 ★マキコ★

★ 布おもちゃ遊び



アンパンマンはブーブーと鳴き、ウサギちゃんはカシャカシャと音がします。布の玩具で音を楽しみ手触りを楽しんでいました。

くまやウサギさんの厚紙に洗濯バサミを付けたり外したり、スナップをとることも楽しそうでした。これからも集中して楽しむことができる、手作りおもちゃを作ろうと思います。

★キョウ

★ ロビー周辺

入口すぐ横の大きなボール・バギーガー・ダンボールハウスはお子様の目にすぐとまります。保護者の方が受付しているうちに遊び初めます。身長と同じくらい大きなボールを、1歳児は全身を使って転がしては追いかけて、2歳児はバウンドさせ、3歳児は落ちないように座ろうとしていました。同じボールでも、成長すると遊びも変わる様子が見られます。

★チヒロ★

